第133回 教育委員会対象セミナー ＜福岡開催＞

GIGAスクール構想第2期　ICT機器の整備・活用/校務情報化の推進

春日市
みんなで春をつくろう

校務環境のフルクラウド・ゼロトラスト化

～春日市の取組～

クラウド × セキュリティ × 利便性

令和８（2026）年

11月24日（火） 13:10 - 13:45

春日市教育委員会
教育総務課 施設ICT担当
主任　　佐々木　駿

KASUGA CITY BOARD OF EDUCATION

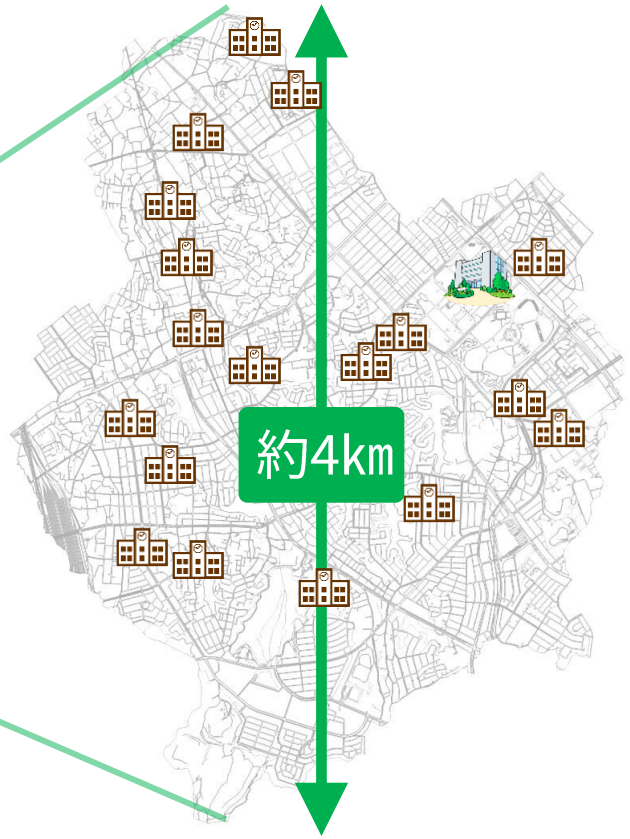
春日市マスコットキャラクター
かすがくん　　あすかちゃん



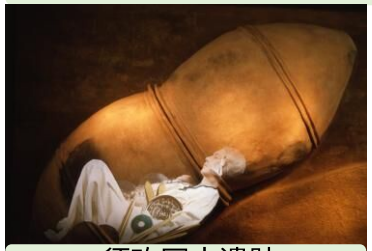
春日市紹介

春日市 2
みんなで春をつくろう





歴史・文化：「弥生銀座」


須玖岡本遺跡
（奴国の丘歴史資料館）


日拝塚古墳

コミュニティスクール：「協働のまち」





平成17年に九州で初めて移行

人　口	111,680人（R8.10月末時点）	県内第５位
面　積	14.15㎢	県内29市で最小
人口密度	7,892人/㎢（R8.10月末時点）	九州地方 第１位

学　校　数	小学校12校　中学校６校
児童生徒数	約10,300人（R8.10月末時点）
教職員数	約　800人（R8.10月末時点）

アジェンダ

1 フルクラウド・ゼロトラスト移行前の状況

2 フルクラウド・ゼロトラスト移行へのプロセス

- I 予算の壁（首長部局との協議）
- II 知識の壁（ 事業者との協議 ）
- III 現場の壁（　学校への説明　）

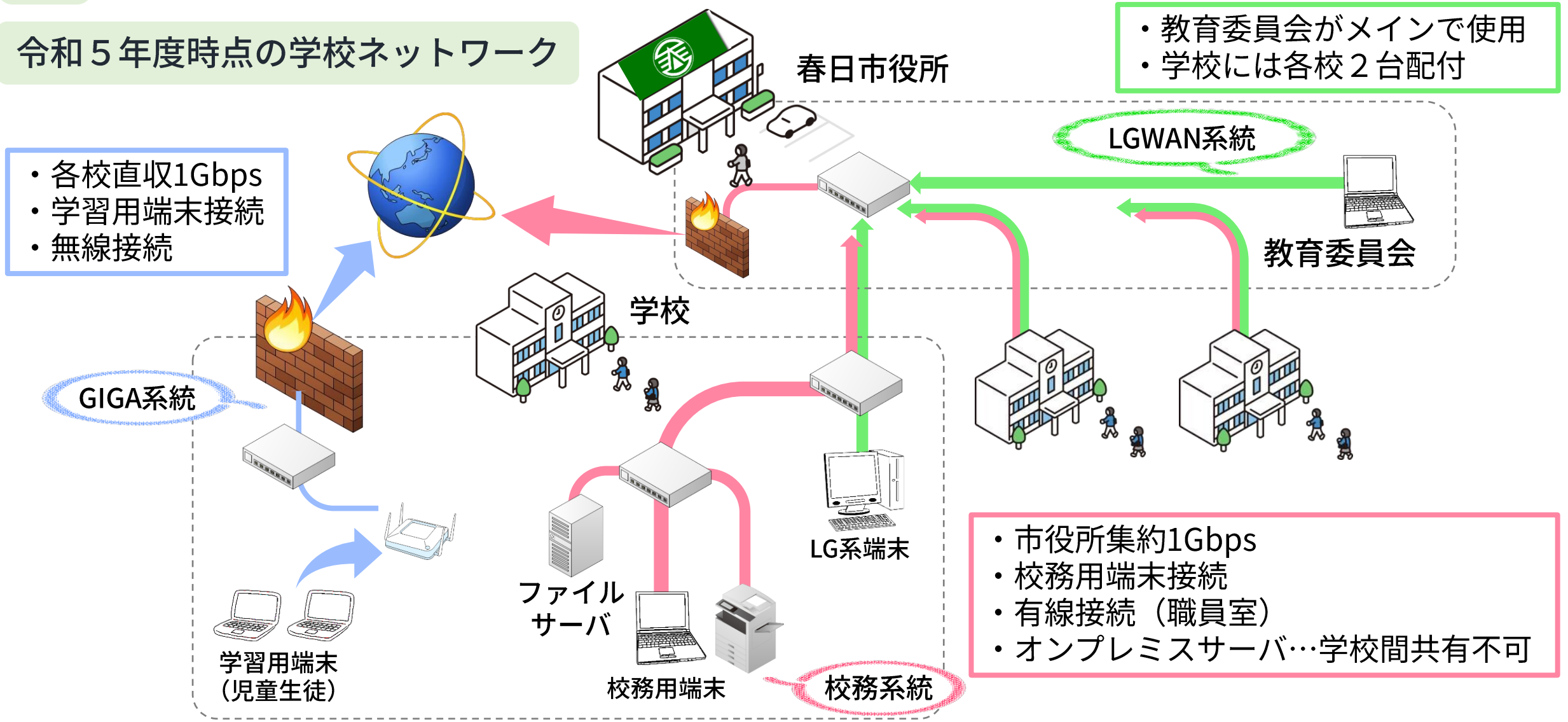
3 フルクラウド・ゼロトラスト移行による効果

4 今後の検討課題

1　フルクラウド・ゼロトラスト移行前の状況

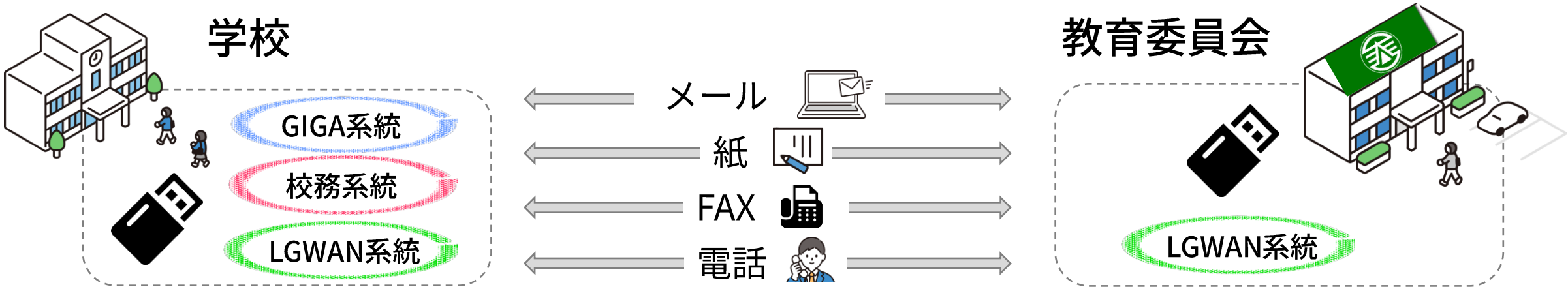
春日市 みんなで春をつくろう 4

令和５年度時点の学校ネットワーク



1　フルクラウド・ゼロトラスト移行前の状況

課題①　教育委員会と学校の情報共有



●電話やメール、紙、FAX等、様々な伝達方法がルール未整備で乱立

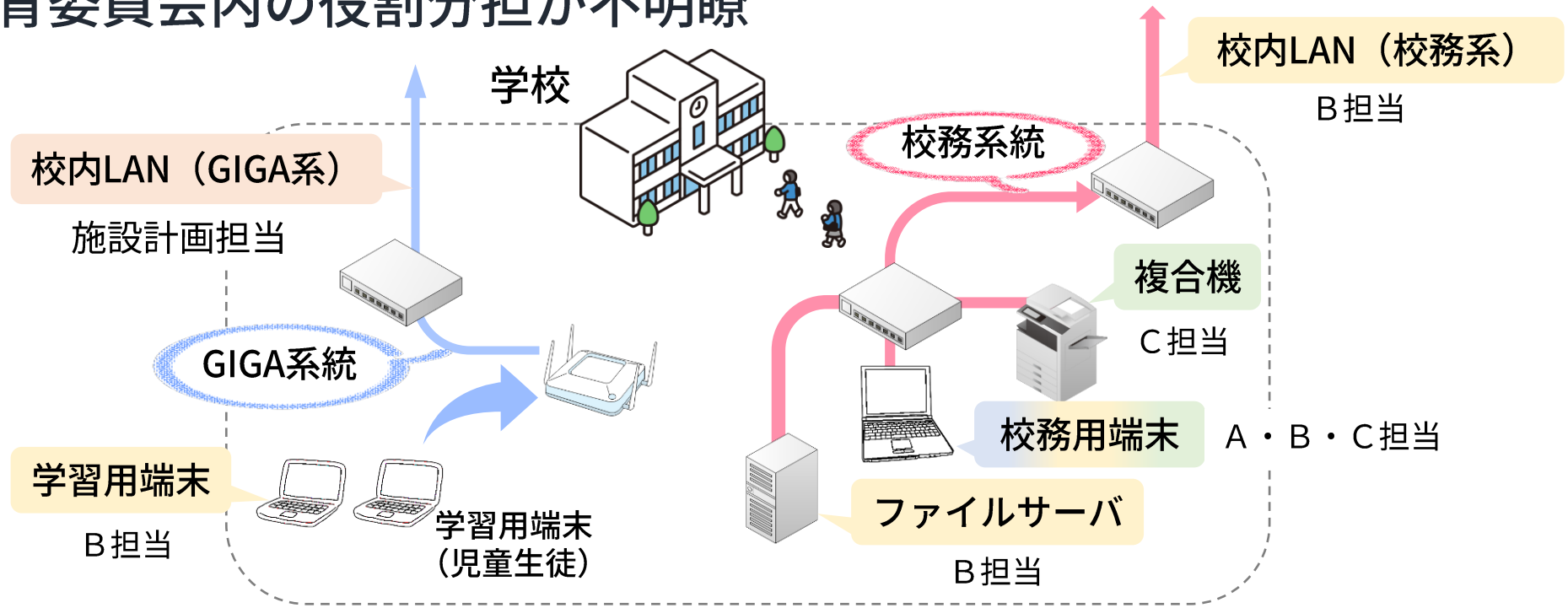
・学校の混乱や見落としを防ぐため、紙＋メールで通知→双方の業務負担増大

●データのやり取りはLGWAN系統を使用

・教育委員会の環境に合わせた運用が常態化
→学校側はUSBメモリを使用せざるを得ない状態⇒紛失・盗難・情報漏えいリスク大

1　フルクラウド・ゼロトラスト移行前の状況

課題②　教育委員会内の役割分担が不明瞭



●ICT関連業務が組織規則等に位置付けられていない

・教育委員会内ですら連携できず、調達や運用に係るルール・ビジョンもほぼ無い状態
→その都度各部署が必要と考えたモノ・ツールを導入⇒“全体最適”の視点がない状態で利用
・学校側も不具合発生時に、教育委員会への相談先が分からない→不具合解消に時間がかかる

1　フルクラウド・ゼロトラスト移行前の状況

課題③　校務用端末・オンプレミスサーバの老朽化

●校務用端末のスペック・管理機能不足



・メモリ:４GB＋CPU:第6世代i3の端末が大多数
→起動するだけでも数分～数十分かかることから、校務処理が停滞
・管理機能・ツールの未整備
→Active Directoryすら未整備のため、ユーザーアカウント・端末管理に著しい課題
⇒特にWindows Update時期は問合せ多数、教育委員会職員が現地訪問で対応

●各校に整備したファイルサーバ（リース）の管理

・ファイルサーバ容量の不足→学校独自のNAS構築、学習系クラウドサーバの無秩序な利用…
・フォルダ構成や保存ルールの未整備⇒データの散逸の危険性
・各校オンプレミス環境
→費用増大に加え、学校間のデータ共有が校務系ネットワーク上で不可

どのデータが
どこに保存され
ているのか？

1　フルクラウド・ゼロトラスト移行前の状況

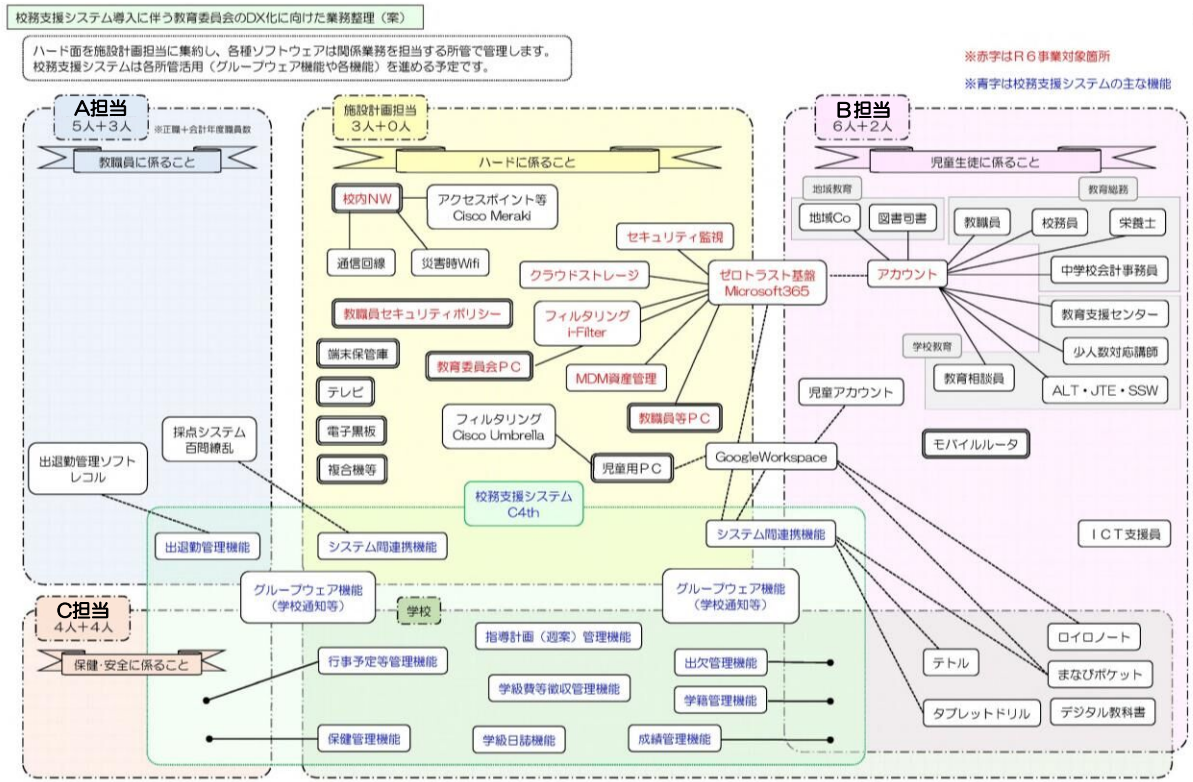
春日市 みんなで春をつくろう　8

契機　福岡県共同調達による**統合型校務支援システム**導入

Verify and Never Trust.
（決して信頼せず必ず確認せよ）

→接続要件として、①VPN接続方式　か　**②ゼロトラスト方式（https接続）**　を選択する必要

⇒これに合わせて諸課題を一体的に解決するため、**ゼロトラスト方式**　を検討



ハード調達等を施設計画担当に集約

校務用端末	校務系ネットワーク
学習用端末	学習系ネットワーク
オンプレミスサーバ	教育情報セキュリティポリシー

ゼロトラスト移行には様々な壁が…

春日市 9
みんなで春をつくろう

2 フルクラウド・ゼロトラスト移行へのプロセス

Ⅰ 予算の壁（首長部局との協議）

【令和５年度】
デジタル政策課
佐々木
教育委員会事務局
施設計画担当（オブザーバー）
稲永（技師）
主管課
査定

令和５年度										令和６年度										令和７年度		
7	8	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
実計査定①	RFI①	壁Ⅰ	実計査定②			RFI②				公告	RFP・契約	要件定義	教職員説明会	学校調査・照会（データ移行）（キッティング）		壁Ⅲ	パイロット校	各校導入説明会		仮運用		本運用開始		
										壁Ⅱ														

●R5.7月　実施計画一次査定【保留】→10月の二次査定までに手法・費用精査の指示
（理由）ゼロトラスト方式とする必要性が不明（他方式との比較なし）、３年で約2.6億円（運用補助等なし）

うち、端末費が２億円

●R5.8~9月　第一回RFI（情報提供依頼）の実施→**稲永**（建築技師）+**佐々木**も本格的に参画
（目的）ゼロトラストに係る体系的な知識獲得、他方式も含めた費用比較等：**３社**から提供



●R5.10月　実施計画二次査定→ゼロトラスト方式での実施認可
※　デジタル政策課との連携及びデジタル田園都市国家構想交付金の活用を条件

春日市 10
みんなで春をつくろう

2 フルクラウド・ゼロトラスト移行へのプロセス

Ⅰ 予算の壁（首長部局との協議）

※ 実際の首長説明資料（数字・表現等は一部修正）👉 交付金活用（事例あり）、諸課題の一体的解消

	※ 金額は千円単位	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計	現環境の課題 ①端末スペック不足	②NW統合	③1人2台体制	④セキュリティ	⑤業務効率化
ゼロトラスト方式	校内NW統合	3,000	-	-	-	-	-	3,000	○ 端末更新により解消	○ 統合実施可→データ連携容易	○ 1台で校務・学習→教員用タブレット不要	○ 各ツールで挙動を検知・対処・制限可	○ 無線化・モバイル化→紙削減 テレワーク可
	各ツール利用	14,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	154,000					
	構築	26,000	-	-	-	-	-	26,000					
	運用保守	1,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	16,000					
	校務端末	170,000	-	-	-	-	-	170,000					
	デジタル田園都市国家構想交付金	▲70,000	-	-	-	-	-	▲70,000					
	計	144,000	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000	299,000					
現行+VPN方式	VPN回線（初期）	4,200	-	-	-	-	-	4,200	○ 端末更新により解消	× 現行のまま	× 現行のまま	× 現行	× 現行
	VPN回線（使用）	1,800	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	19,800					
	Office（LTSC）	20,000	-	-	-	-	20,000	40,000					
	サーバリース・保守	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	42,000					
	ウイルス対策	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	10,200					
	校務端末	170,000	※ Win10サポート終了のため、R7までの更新必須					170,000					
	教員用タブレット	-	-	40,000	-	-	-	40,000					
	計	204,700	12,300	52,300	12,300	12,300	32,300	326,200					

実際の交付額は統合型校務支援システム共同調達に係る約3,000千円のみ…（想定の約95%減）



2 フルクラウド・ゼロトラスト移行へのプロセス

春日市 みんなで春をつくろう 11

Ⅱ 知識の壁（ 事業者との協議 ）

【令和５年度】

デジタル政策課
佐々木

教育委員会事務局
主管課
施設計画担当（取りまとめ）
稲永（技師）

支援

令和５年度									令和６年度												令和７年度		
7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
実計査定①	RFI① 壁Ⅰ		実計査定②				RFI② 壁Ⅱ		公告	RFP・契約	要件定義	教職員説明会	学校調査・照会（データ移行）（キッティング） 壁Ⅲ			パイロット校	各校導入説明会		仮運用		本運用開始		

●R5.10~12月　情報収集及び仕様書案作成

→並行して**As-Is・To-Be分析**を教育委員会主導で実施

（例）セキュリティ：USBメモリを禁止したい 等

効率化：情報共有のデジタル化を推進したい 等

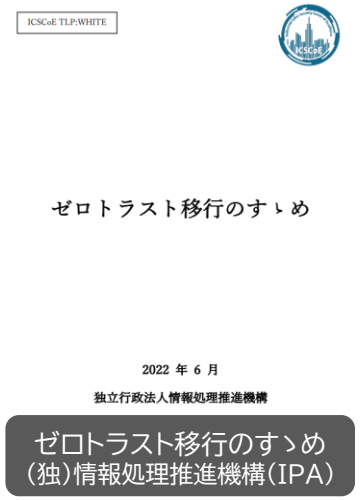
●R6.1月　第二回RFI（情報提供依頼）の実施：４社から提供

（目的）・本市が作成した仕様書案の実現可能性

・想定スケジュールでの対応可否　等

＜座右の書＞

【概要】



ゼロトラスト移行のすゝめ
(独)情報処理推進機構(IPA)

【具体例】



すべてわかるゼロトラスト大全
日経クロステック 編

2 フルクラウド・ゼロトラスト移行へのプロセス

II 知識の壁（ 事業者との協議 ）

【令和６年度】

教育委員会事務局
- 施設計画担当（主管課）：稲永　佐々木
- 他課

令和５年度									令和６年度												令和７年度		
7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
実計査定①	RFI①	壁Ⅰ	実計査定②			RFI②			公告	RFP・契約	要件定義	教職員説明会	学校調査・照会（データ移行）（キッティング）		壁Ⅲ	パイロット校	各校導入説明会			仮運用	本運用開始		
									壁Ⅱ														

●R6.4~6月　公告・プロポーザル実施・契約・要件定義

→Microsoft 365 A5ライセンス（*）を主軸にした環境構築、２in１タイプのモバイル端末調達

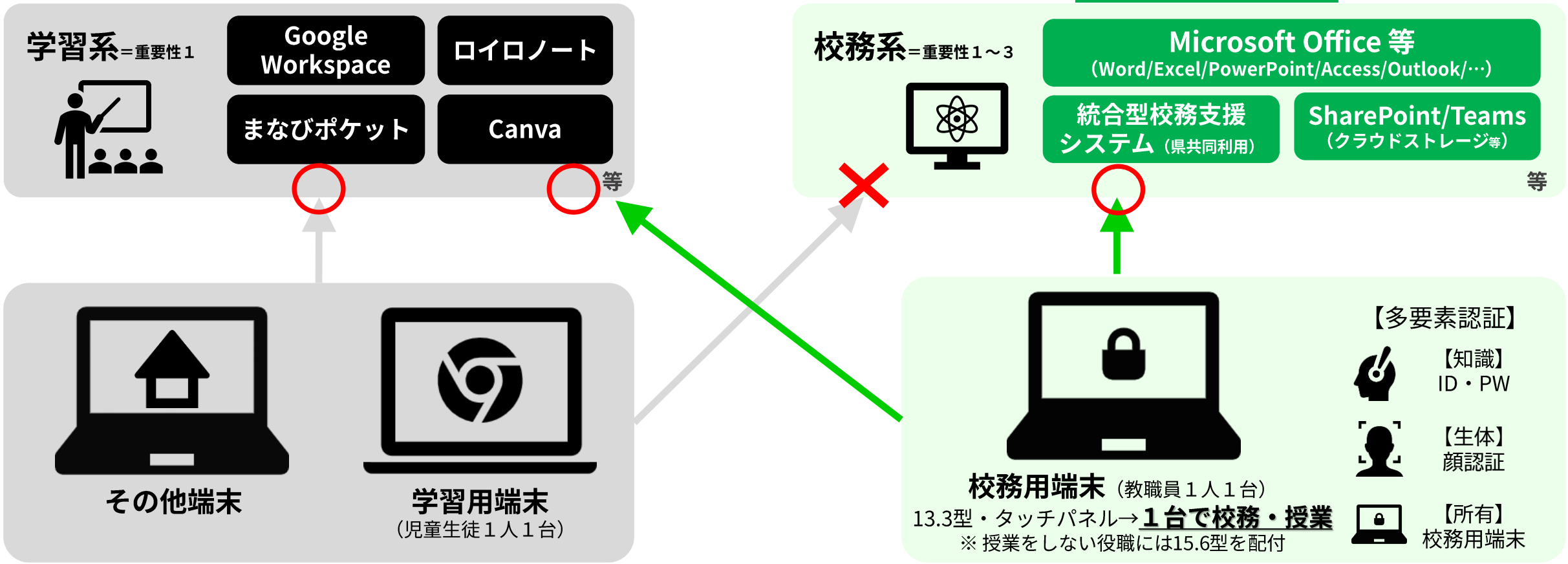
機能	ツール	機能	ツール	機能	ツール
ID基盤（IDaaS）	Microsoft Entra ID(*)	EPP･EDR	Microsoft Defender for Endpoint(*)	暗号化･機密保護	Microsoft Purview Information P2(*)
多要素認証	Windows Hello for Business(*)	シャドーIT対策	Microsoft Defender for Cloud Apps(*)	ログ取得･外部媒体制御	SKYSEA Cloud
端末統制	Microsoft Intune(*)	ストレージ	SharePoint /OneDrive(*)	フィルタリング	i-FILTER@Cloud

2 フルクラウド・ゼロトラスト移行へのプロセス

春日市ゼロトラスト環境の特徴①

- オンプレミスサーバを併用しない**フルクラウド構成**…管理コスト減、BCP対策
- 校務に係る領域・システムには校務用端末でのみアクセス可能…**高セキュリティ**を確保

引き継ぐべきオンプレミス資産が少ないことも要因



2 フルクラウド・ゼロトラスト移行へのプロセス

春日市ゼロトラスト環境の特徴②

学校現場では**USBメモリ紛失**によるセキュリティインシデント多発

2026（令和8）年に全国で発生したUSBメモリ紛失事故（各自治体・教育委員会公表資料等を基に春日市教育委員会作成）	
場所	概要
島根県	中学校教諭が職員室の机に置いていた学校管理のUSBメモリを紛失。修学旅行写真27枚、部活動写真17枚が保存。
秋田県	小学校教諭が1クラス分の児童氏名や通知表評価の基礎データなどを保存したUSBメモリを校内で紛失。
宮崎県	小学校教諭が公用USBメモリが見当たらないことに気付いた。担任学級の児童について、2025年度前期、4月から10月分の成績情報が保存。
茨城県	高校講師が、私物USBメモリを紛失。3校、延べ438人分の考査素点、評定、順位、観点別評価、欠席日数などが保存されていた。
岐阜県	学校図書館の端末に接続していた公用USBメモリが所在不明。児童生徒816人分の氏名、学年、クラス、出席番号、図書貸出情報と蔵書データを保存。

⇒**校務用端末からUSB接続機器でデータを持ち出すことは禁止**

機器名称	制限内容	機器名称	制限内容
●CD・DVDドライブ ●メディアカードリーダー	**読み取りのみ可** （各校１台のみ許可）	●USBメモリ ●外付けHDD ●iOSデバイス ●他モバイルデバイス	**接続不可**
●デジタルカメラ ●イメージスキャナ	**読み取りのみ可** （台数制限なし）		

⇔どうしても自宅での業務が必要な場合は、校長に申請・許可を受けた上で、**校務用端末を持ち帰る運用**

→多要素認証必須+記憶領域（SSD）暗号化+リモートワイプ機能により、盗難時の情報漏えいリスクを抑制



2 フルクラウド・ゼロトラスト移行へのプロセス

★ 春日市ゼロトラスト環境の特徴③

- ファイルサーバの階層構造（フォルダ構成）が学校ごとにバラバラ→市内異動時にルールを覚え直す負担
- フォルダへのアクセス権限が未制御→校長の人事関連ファイル等は外付けHDDに保存

破損・消失
盗難・紛失
リスク

人事異動
対象者の
約４割が
市内異動

⇒ ① 教育情報資産を重要性に応じて**３段階**に分類

② 市内で**フォルダ構成を統一**し、**役職に応じたアクセス権限**を付与（下表は一例）

重要性	定義	フォルダ名	校長	教頭	教諭・講師	ALT	養護教諭	SSW	事務職員	司書	他校
3	教職員又は児童生徒の生命、財産、プライバシー等並びに学校事務及び教育活動の実施に重大な影響を及ぼす。	校長	●	×	×						×
		教頭	●	◎	×						×
		ログイン情報	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×
2	学校事務及び教育活動の実施に軽微な影響を及ぼす。	職員会議	●	●	◎	○	◎	◎	●	◎	×
		試験問題	●	●	◎	◎	×	×	●	×	×
		事務	●	●	×	×	×	×	●	×	×
1	影響をほとんど及ぼさない。	各学年	◎	◎	◎	○	◎				×
		委員会・クラブ活動	◎	◎	◎	○	◎				×
		授業・教材	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○

●：暗号化ラベル変更可、◎：編集可、
○：閲覧可、×：アクセス不可

授業・教材フォルダは
他校の事例を閲覧可

2 フルクラウド・ゼロトラスト移行へのプロセス

春日市ゼロトラスト環境の特徴④

学校現場では**紙文書紛失（置き忘れ）・メール誤送信**によるセキュリティインシデント多発

（各自治体・教育委員会公表資料等を基に春日市教育委員会作成）

2024年5月　北海道　生徒267人分の成績・人間関係等を記載した紙文書を置き忘れ　生徒閲覧・SNSに流出・拡散

2025年4月　山形県　担当学年の全保護者に児童数十人分の個人情報（氏名、性格、学力や家庭環境等）を誤送信

2026年4月　愛知県　修学旅行教員用しおり（参加生徒120名分の名簿、11人のアレルギー情報等が記載）を紛失

→**重要性2・3のOfficeファイルを自動暗号化**⇒暗号化ファイルは**印刷不可・校務用端末でのみ閲覧可**

重要性	数量	定義	例示	Officeファイルの取扱い	暗号化解除方法
3	僅少	教職員又は児童生徒の生命、財産、プライバシー等並びに学校事務及び教育活動の実施に重大な影響を及ぼす。	・校長フォルダ ・健康・保健管理フォルダ ・ログイン情報フォルダ　等	・校務用端末以外では**閲覧不可** ・紙媒体への**印刷不可**	**校長**に申請
2	少	学校事務及び教育活動の実施に軽微な影響を及ぼす。	・職員会議フォルダ ・試験問題フォルダ ・事務フォルダ　等		**校長/教頭/事務**に申請
1	多	影響をほとんど及ぼさない。	・各学年フォルダ ・委員会・クラブ活動フォルダ ・授業・教材フォルダ　等	・校務用端末以外でも閲覧可能 ＝児童生徒や外部との共有可 ・紙媒体への印刷可能	不要

2 フルクラウド・ゼロトラスト移行へのプロセス

III 現場の壁（　学校への説明　）

【令和６年度】

教育委員会事務局

施設計画担当（主管課）
稲永　佐々木

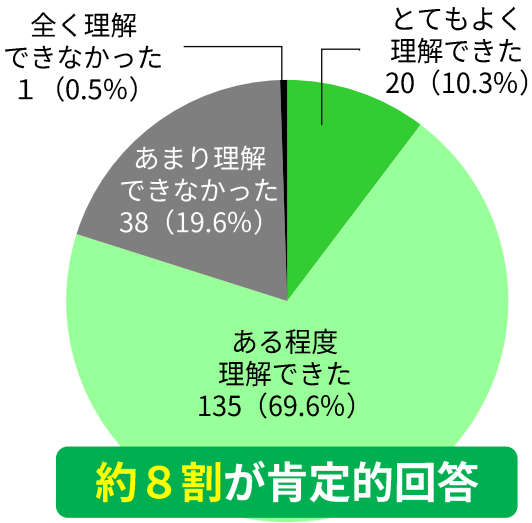
他課

令和５年度									令和６年度									令和７年度		
7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
実計査定①		RFI①	実計査定②			RFI②			公告	RFP・契約	要件定義	教職員説明会	学校調査・照会（データ移行）（キッティング）			パイロット校	各校導入説明会		仮運用		本運用開始		
		壁Ⅰ							壁Ⅱ						壁Ⅲ								

●R6.7月　教職員説明会実施…Web方式：約1か月前に資料配付し事前質問を募る→約90件の質疑

⇒教職員の約1/4が視聴、終了後のアンケートに約100件の質疑・意見

教職員説明会後アンケート結果



約８割が肯定的回答

●R6.8~10月　学校調査・照会

- 市内統一フォルダ構成への意見照会
- 事前インストールが必要なシステム確認
- 共通ブックマークに登録するWebサイト確認
- 新端末配付スケジュール確認
- データのクラウド移行スケジュール確認
- 新環境移行現地説明会スケジュール確認

等

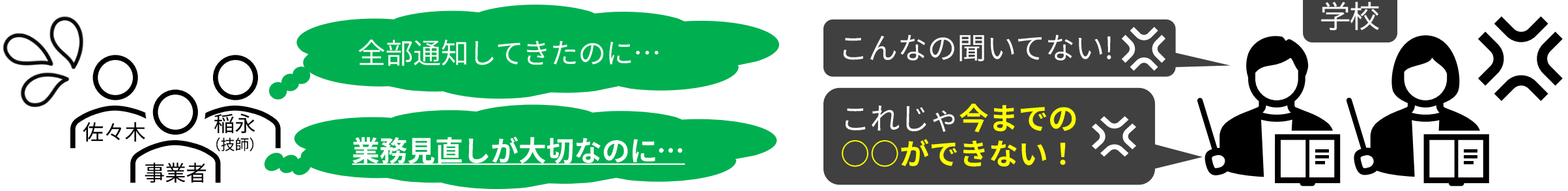
- 11/ 7午後 中学校①
- 11/25午後 小学校①
- 12/18午後 小学校②
- 12/23午後 中学校②
- 12/24午後 小学校③
- 12/25午前 小学校④
- 12/25午後 中学校③
- 12/26午前 中学校④
- 12/26午後 中学校⑤
- 12/27午前 中学校⑥
- 1/ 6午前 小学校⑤
- 1/ 7午前 小学校⑥
- 1/ 7午後 小学校⑦
- 1/ 8午後 小学校⑧
- 1/ 9午後 小学校⑨
- 1/15午後 小学校⑩
- 1/16午後 小学校⑪
- 1/20午後 小学校⑫

計18校

2 フルクラウド・ゼロトラスト移行へのプロセス

Ⅲ 現場の壁（　学校への説明　）

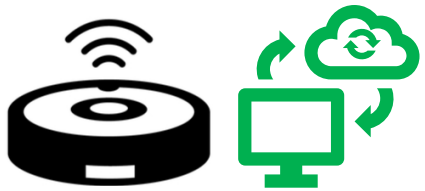
●R6.11月~R7.1月　新環境移行現地説明会実施⇒想像以上の反発



※ DXツール≒ロボット掃除機

ロボット掃除機…効果的に使うためには、**部屋を整理整頓**し、**家具の配置を最適化**する必要がある

DXツール　…効果的に使うためには、**業務を整理整頓**し、**業務フローを最適化**する必要がある





2 フルクラウド・ゼロトラスト移行へのプロセス

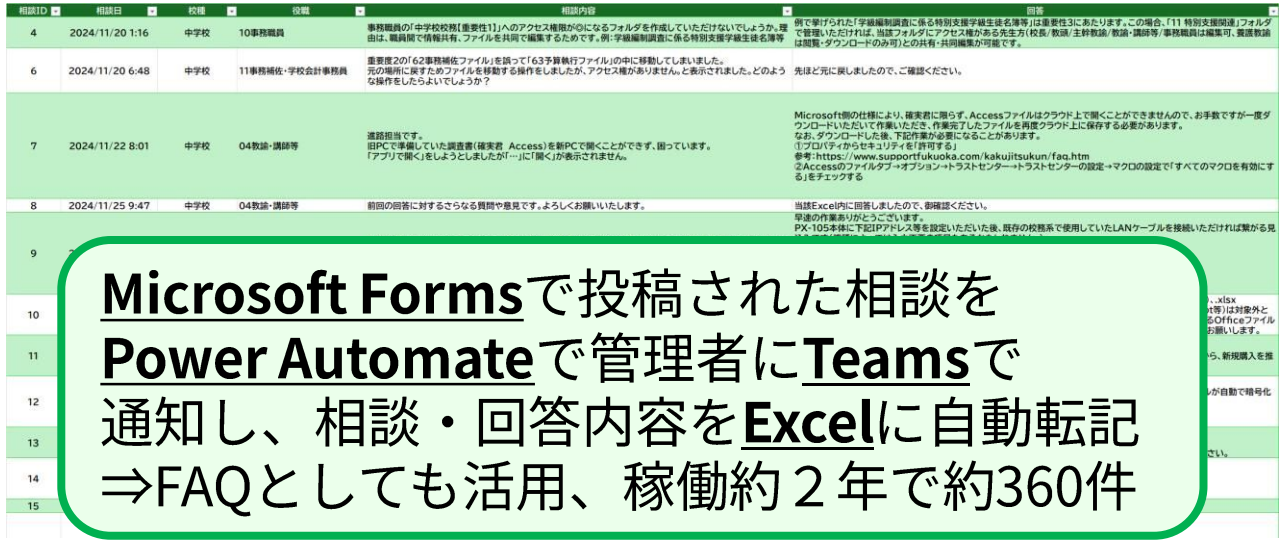
Ⅲ 現場の壁（　学校への説明　）

★**「教育委員会へのICTに係る相談フォーム」**で相談受付をワークフロー化

★**「GIGAスクール構想・校務DX サポートサイト」**構築→これまでの資料等を登録

一般教職員が直接相談・閲覧できる環境を整え、情報格差（「聞いてない！」）軽減を目指す

★「教育委員会へのICTに係る相談フォーム」



相談ID	相談日	校種	役職	相談内容	回答
4	2024/11/20 1:16	中学校	10事務職員	事務職員の「中学校校務【重要性1】」へのアクセス権限が◎になるフォルダを作成していただけないでしょうか。理由は、職員間で情報共有、ファイルを共同で編集するためです。例：学級編制調査に係る特別支援学級生徒名簿等	例で挙げられた「学級編制調査に係る特別支援学級生徒名簿等」は重要性3にあたります。この場合、「11 特別支援関連」フォルダで管理いただければ、当該フォルダにアクセス権がある先生方（校長/教頭/主幹教諭/教諭・講師等/事務職員は編集可、養護教諭は閲覧・ダウンロードのみ可）との共有・共同編集が可能です。
6	2024/11/20 6:48	中学校	11事務補佐・学校会計事務員	重要度2の「62事務補佐ファイル」を誤って「63予算執行ファイル」の中に移動してしまいました。元の場所に戻すためファイルを移動する操作をしましたが、アクセス権がありません。と表示されました。どのような操作をしたらよいでしょうか？	先ほど元に戻しましたので、ご確認ください。
7	2024/11/22 8:01	中学校	04教諭・講師等	進路担当です。 旧PCで準備していた調査書（確実君 Access）を新PCで開くことができず、困っています。 「アプリで開く」をしようとしましたが「…」に「開く」が表示されません。	Microsoft側の仕様により、確実君に限らず、Accessファイルはクラウド上で開くことができませんので、お手数ですが一度ダウンロードいただいて作業いただき、作業完了したファイルを再度クラウド上に保存する必要があります。 なお、ダウンロードした後、下記作業が必要になることがあります。 ①プロパティからセキュリティを「許可する」 参考：https://www.supportfukuoka.com/kakujitsukun/faq.htm ②Accessのファイルタブ→オプション→トラストセンター→トラストセンターの設定→マクロの設定で「すべてのマクロを有効にする」をチェックする
8	2024/11/25 9:47	中学校	04教諭・講師等	前回の回答に対するさらなる質問や意見です。よろしくお願いいたします。	当該Excel内に回答しましたので、御確認ください。
9					早速の作業ありがとうございます。 PX-105本体に下記IPアドレス等を設定いただいた後、既存の校務系で使用していたLANケーブルを接続いただければ繋がる見
10					
11					
12					
13					
14					
15					

Microsoft Formsで投稿された相談を
Power Automateで管理者に**Teams**で
通知し、相談・回答内容を**Excel**に自動転記
⇒FAQとしても活用、稼働約２年で約360件

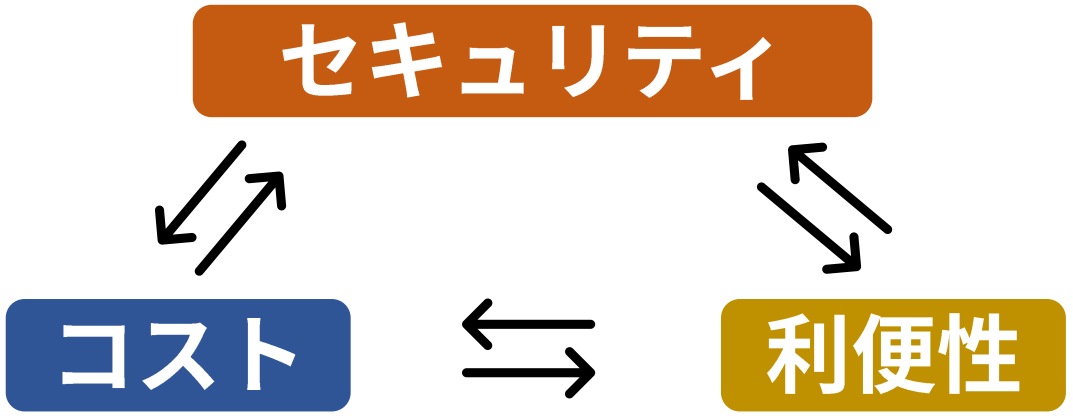
★「GIGAスクール構想・校務DX サポートサイト」



SharePointで作成
稼働約２年で約19,000アクセス

3 フルクラウド・ゼロトラスト移行による効果

※「ゼロトラスト」は概念→“正解”は自治体の状況ごとに異なる



●**セキュリティ**・**コスト**・**利便性**はトレードオフの関係にある
→**セキュリティ**上の脅威を把握し、必要な投資**コスト**を精査し、使用者の**利便性**とのバランスを見極めて構築・運用する必要がある

⇒現況把握フェーズを経ずに、他自治体の構築例をそのまま流用するのは**非推奨**

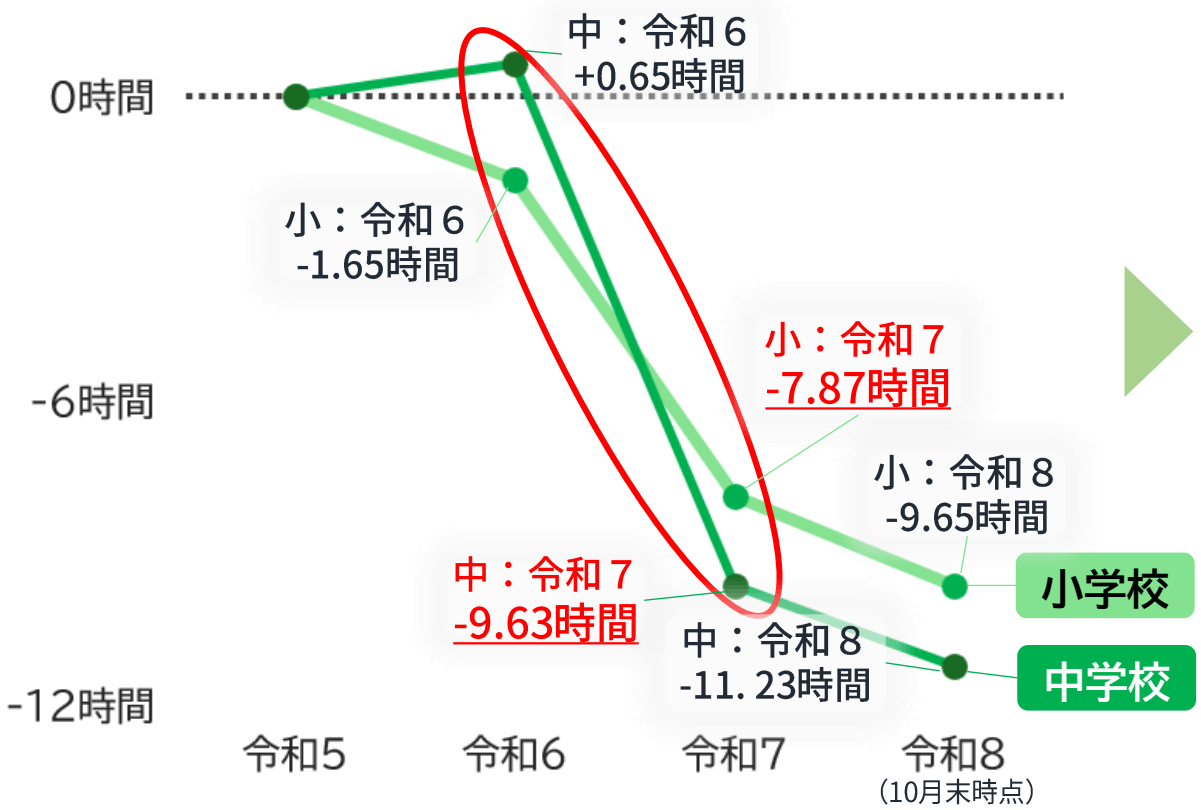
ゼロトラストは“手段”であり“目的”ではない　魔法の杖　銀の弾丸　⇒**移行後の運用設計が最重要**

3 フルクラウド・ゼロトラスト移行による効果

春日市 21
みんなで春をつくろう

効果① 学校現場の負担軽減

春日市教職員の月平均時間外在校等時間の推移
（令和５年度比・累積増減）



※　令和5年度を基準値（0時間）とした場合の累積増減時間を示しています（マイナス値は基準年度からの減少を表します）。

●R6からR7にかけて学校ICT環境激変
【春日市教委】ゼロトラスト環境移行
統合型校務支援システム
【春日市首長部局】文書・財務事務の電子化
【福岡県教育庁】校務支援・給与クラウドシステム



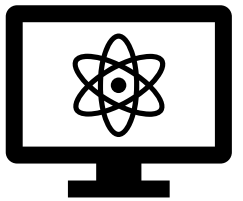
【理想】校務に係る業務負担を最小化
→児童・生徒に向き合う時間を最大化

学習指導・児童生徒との関わり



個性的・協働性

校務に係る事務

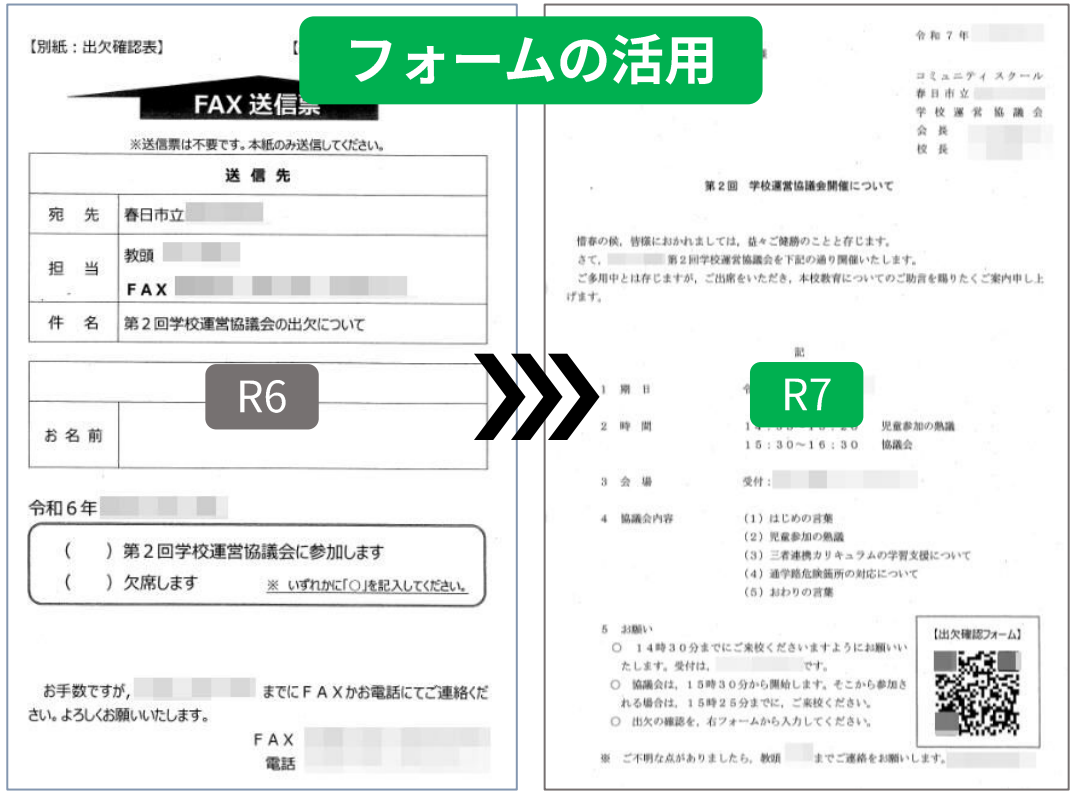


標準化・省力化

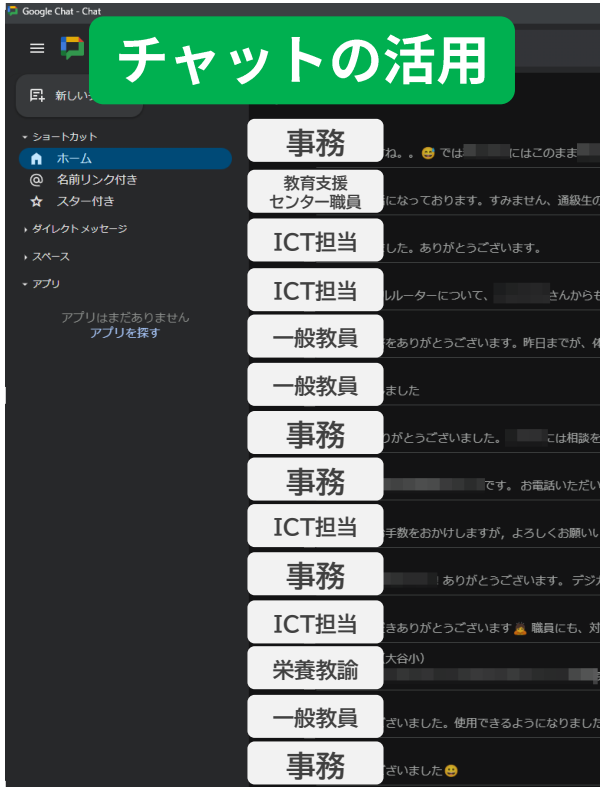
3 フルクラウド・ゼロトラスト移行による効果

効果② 学校現場のマインドセットの変化

フォームの活用



チャットの活用



保護者連絡ツール(tetoru)

- 教職員使用率（５名/校以上）：100%
- 児童・生徒登録率：100%
- 保護者登録率：100%
- 欠席連絡機能活用による業務削減効果：約500時間（R7.4月のみ）
  ※１件あたりの対応削減時間を３分として計算
- 保護者個別連絡機能（トライアル）による総配信数：第４位/29自治体

ツールそのものは令和６年度以前から存在していたものもあるが、

ゼロトラスト環境移行をトリガーにさらなる活用が進む

3 フルクラウド・ゼロトラスト移行による効果

春日市 みんなで春をつくろう 23

効果③ セキュリティ・基本Officeに加え、AI・業務効率化ツールも使用可能

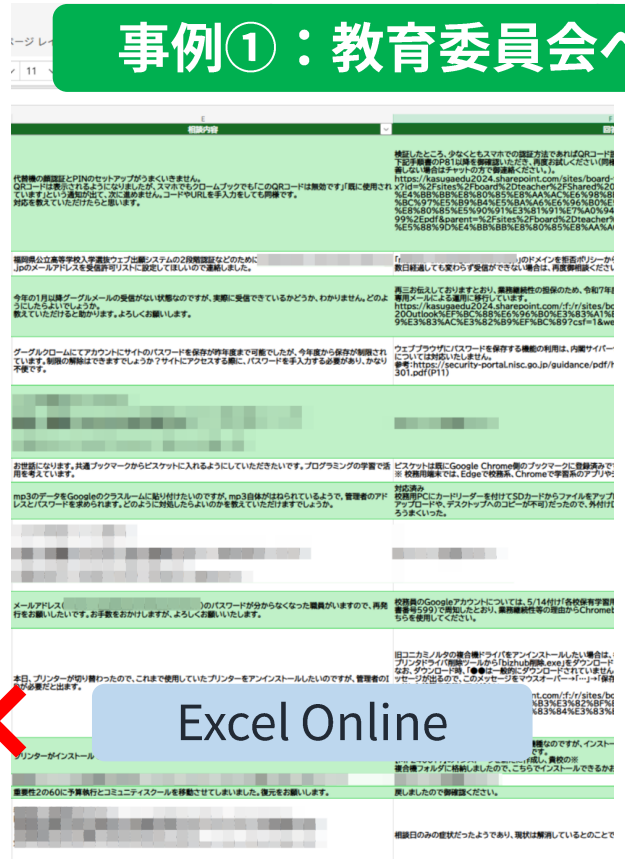
投資対効果高

Microsoft 365 A5

例1 ワークフロー内製化（Microsoft Forms×Excel Online×Teams×Power Automate）

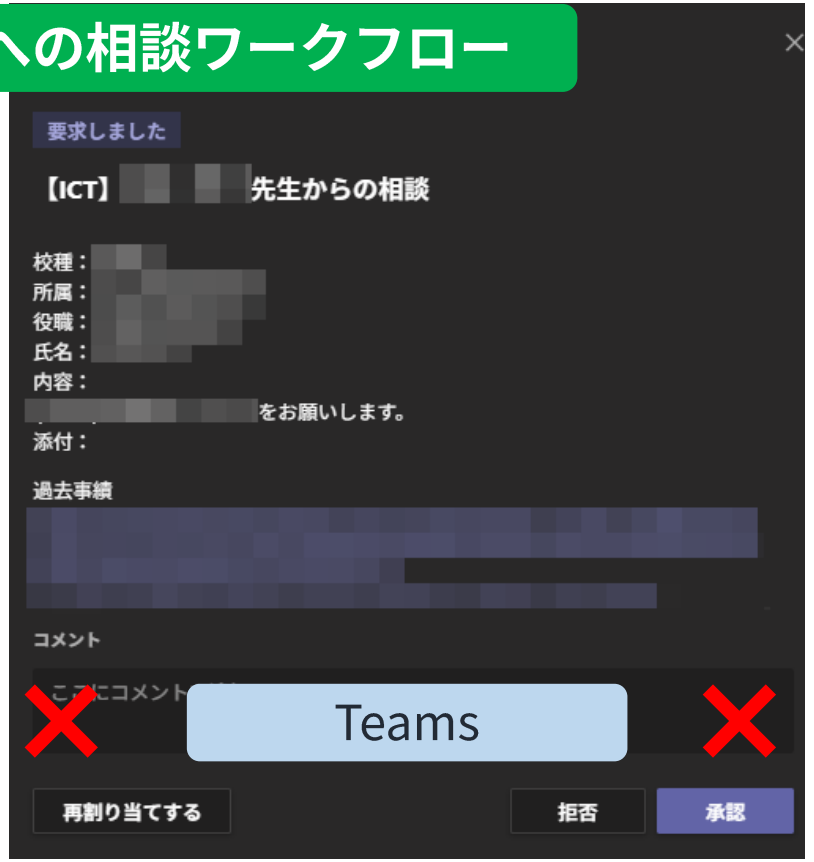


Microsoft Forms



Excel Online

事例①：教育委員会への相談ワークフロー



Teams



Power Automate

3 フルクラウド・ゼロトラスト移行による効果

春日市 24
みんなで春をつくろう

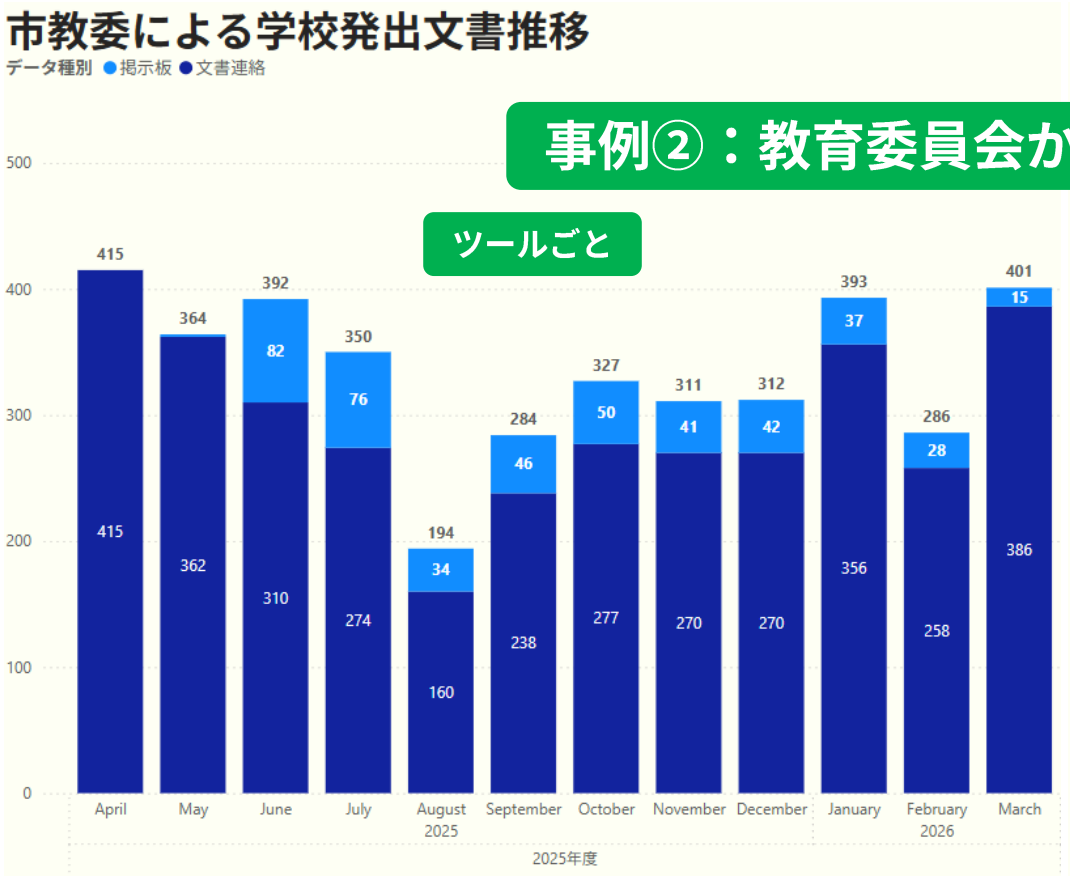
効果③ セキュリティ・基本Officeに加え、AI・業務効率化ツールも使用可能

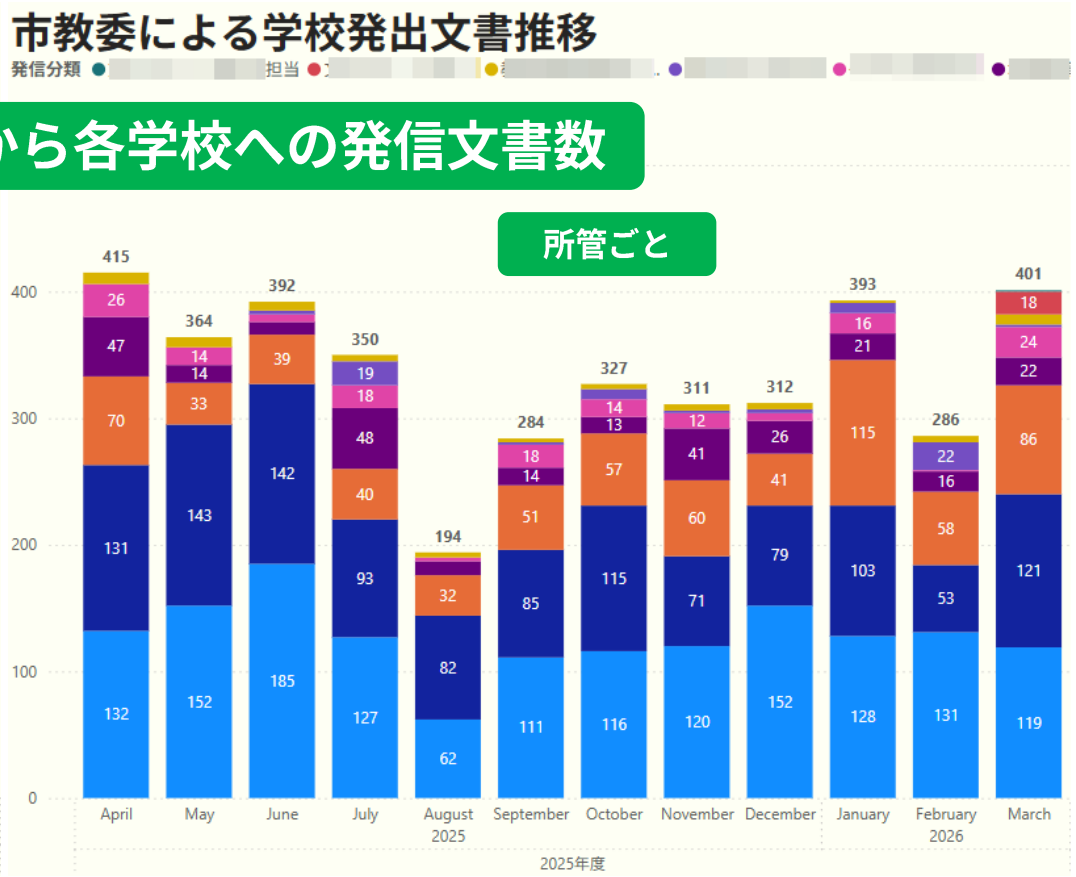
投資対効果高

Microsoft 365 A5

例2 各種データの可視化・見える化による課題“発見”（Microsoft Excel×Power BI）

事例②：教育委員会から各学校への発信文書数





3 フルクラウド・ゼロトラスト移行による効果

春日市 25
みんなで春をつくろう

効果③ セキュリティ・基本Officeに加え、AI・業務効率化ツールも使用可能

投資対効果高

Vibe coding　Microsoft 365 A5　Google Workspace for Education Fundamentals

例3 生成AIを活用したバイブコーディング（Microsoft Copilot×Google Apps Script）

事例③：こころの健康観察



児童生徒の回答を毎朝自動集計



3 フルクラウド・ゼロトラスト移行による効果

春日市 26
みんなで春をつくろう

効果③ セキュリティ・基本Officeに加え、AI・業務効率化ツールも使用可能

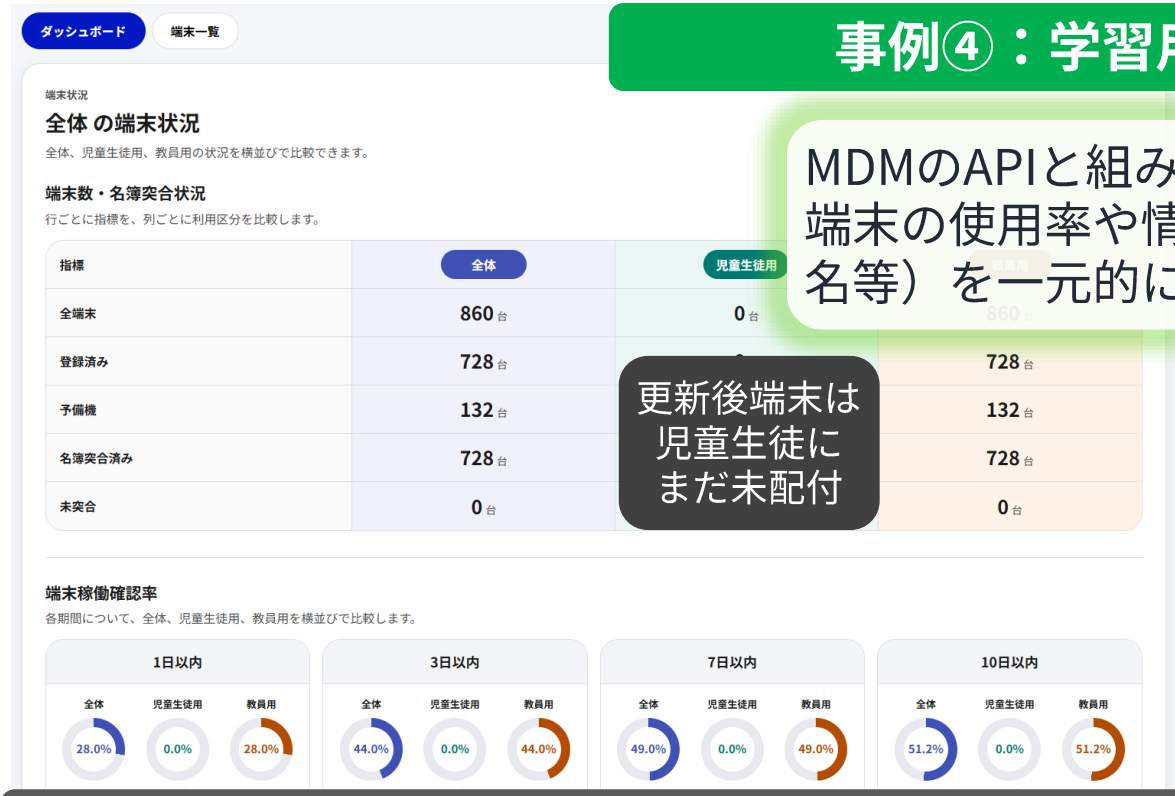
投資対効果高

Vibe coding　Microsoft 365 A5　Google Workspace for Education Fundamentals

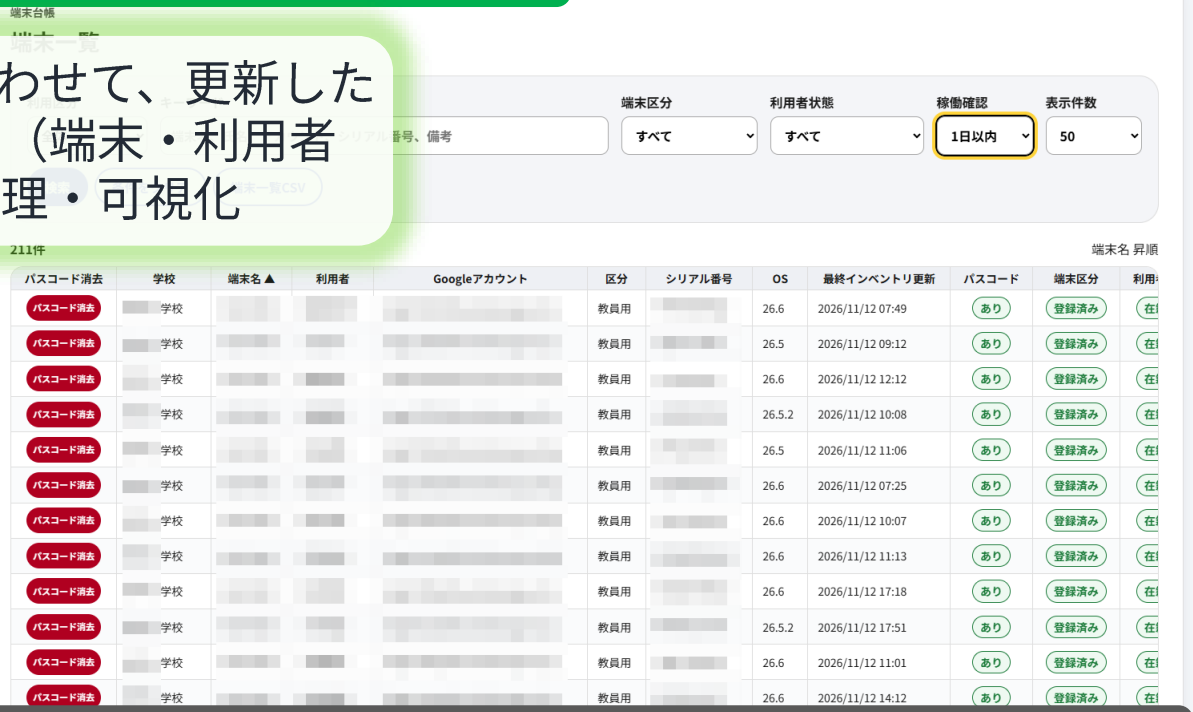
例3 生成AIを活用したバイブコーディング（Microsoft Copilot×Google Apps Script）

事例④：学習用端末管理アプリ

MDMのAPIと組み合わせて、更新した端末の使用率や情報（端末・利用者名等）を一元的に管理・可視化



更新後端末は児童生徒にまだ未配付



「何でもできる訳ではないが、何にもできない訳でもない」

3 フルクラウド・ゼロトラスト移行による効果

難点① クラウド側の大規模障害発生時には無力

※ オンプレミスなら早期復旧？
→人員・体制規模次第

過去５年間における大規模障害発生頻度

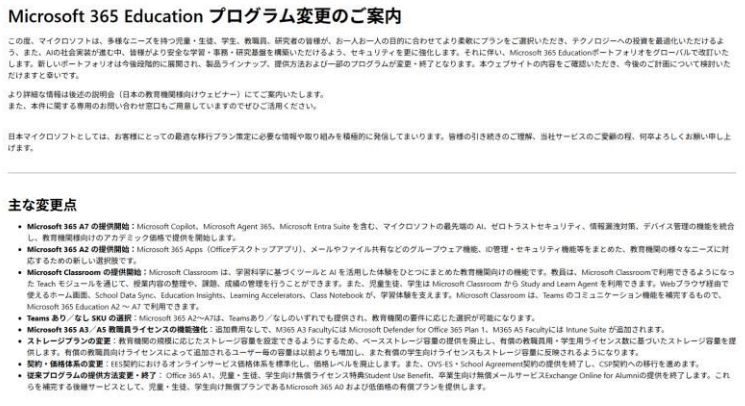
※ 世界規模で発生した主要な障害（多くは日本にも影響）を集計

年	Microsoft 365	Google Workspace
2022年	約２回（Exchange・Teams）	約２回（Drive・Gmail）
2023年	約３回（全般・Outlook・OneDrive）	約２回（Drive・Gmail）
2024年	約４回（全般×２・Exchange・Teams）	約２回（Drive・Gmail）
2025年	約３回（Exchange・Teams・Entra ID）	約２回（Cloud・全般）
2026年	約２回（全般・Exchange）	約２回（全般・Gemini）

難点② 将来的なコスト増大の可能性

→複数ツール活用による特定クラウドへの依存を避ける⇔運用の複雑化

⇒既存構成の踏襲を前提とせず、絶えずベストミックスを追求



Microsoft 365 Education プログラム変更のご案内

この度、マイクロソフトは、多様なニーズを持つ児童・生徒、学生、教職員、研究者の皆様が、お一人お一人の目的に合わせてより柔軟にプランをご選択いただき、テクノロジーへの投資を最適化いただけるよう、また、AIの社会実装が進む中、皆様がより安全な学習・事務・研究基盤を構築いただけるよう、セキュリティを要に強化します。それに伴い、Microsoft 365 Educationポートフォリオをグローバルで改訂いたします。新しいポートフォリオは今後段階的に展開され、製品ラインナップ、提供方法および一部のプログラムが変更・終了となります。本ウェブサイトの内容をご確認いただき、今後のご計画について検討いただけますと幸いです。

より詳細な情報は後述の説明会（日本の教育機関様向けウェビナー）にてご案内いたします。
また、本件に関する専用のお問い合わせ窓口もご用意していますのでぜひご活用ください。

日本マイクロソフトとしては、お客様にとっての最適な移行プラン策定に必要な情報や取り組みを積極的に発信してまいります。皆様の引き続きのご理解、当社サービスのご愛顧の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

主な変更点

- **Microsoft 365 A7 の提供開始**：Microsoft Copilot、Microsoft Agent 365、Microsoft Entra Suite を含む、マイクロソフトの最先端の AI、ゼロトラストセキュリティ、情報漏洩対策、デバイス管理の機能を統合し、教育機関様向けのアカデミック価格で提供を開始します。
- **Microsoft 365 A2 の提供開始**：Microsoft 365 Apps（Officeデスクトップアプリ）、メールやファイル共有などのグループウェア機能、ID管理・セキュリティ機能等をまとめた、教育機関の様々なニーズに対応するための新しい選択肢です。
- **Microsoft Classroom の提供開始**：Microsoft Classroom は、学習科学に基づくツールと AI を活用した体験をひとつにまとめた教育機関向けの機能です。教員は、Microsoft Classroomで利用できるようになった Teach モジュールを通じて、授業内容の整理や、課題、成績の管理を行うことができます。また、児童生徒、学生は Microsoft Classroom から Study and Learn Agent を利用できます。Webブラウザ経由で使えるホーム画面、School Data Sync、Education Insights、Learning Accelerators、Class Notebook が、学習体験を支えます。Microsoft Classroom は、Teams のコミュニケーション機能を補完するもので、Microsoft 365 Education A2 へ A7 で利用できます。
- **Teams あり／なし SKU の選択**：Microsoft 365 A2～A7は、Teamsあり／なしのいずれでも提供され、教育機関の要件に応じた選択が可能になります。
- **Microsoft 365 A3／A5 教職員ライセンスの機能強化**：追加費用なしで、M365 A3 FacultyにはMicrosoft Defender for Office 365 Plan 1、M365 A5 FacultyにはIntune Suite が追加されます。
- **ストレージプランの変更**：教育機関の規模に応じたストレージ容量を設定できるようにするため、ベースストレージ容量の提供を廃止し、有償の教職員用・学生用ライセンス数に基づいたストレージ容量を提供します。有償の教職員向けライセンスによって追加されるユーザー毎の容量は以前よりも増加し、また有償の学生向けライセンスもストレージ容量に反映されるようになります。
- **契約・価格体系の変更**：EES契約におけるオンラインサービス価格体系を標準化し、価格レベルを廃止します。また、OVS-ES・School Agreement契約の提供を終了し、CSP契約への移行を進めます。
- **従来プログラムの提供方法変更・終了**：Office 365 A1、児童・生徒、学生向け無償ライセンス特典(Student Use Benefit、卒業生向け無償メールサービスExchange Online for Alumni)の提供を終了します。これらを補完する後継サービスとして、児童・生徒、学生向け無償プランであるMicrosoft 365 A0 および低価格の有償プランを提供します。

4 今後の検討課題

教育委員会の使命　ツール・ルール・ポータル の整備

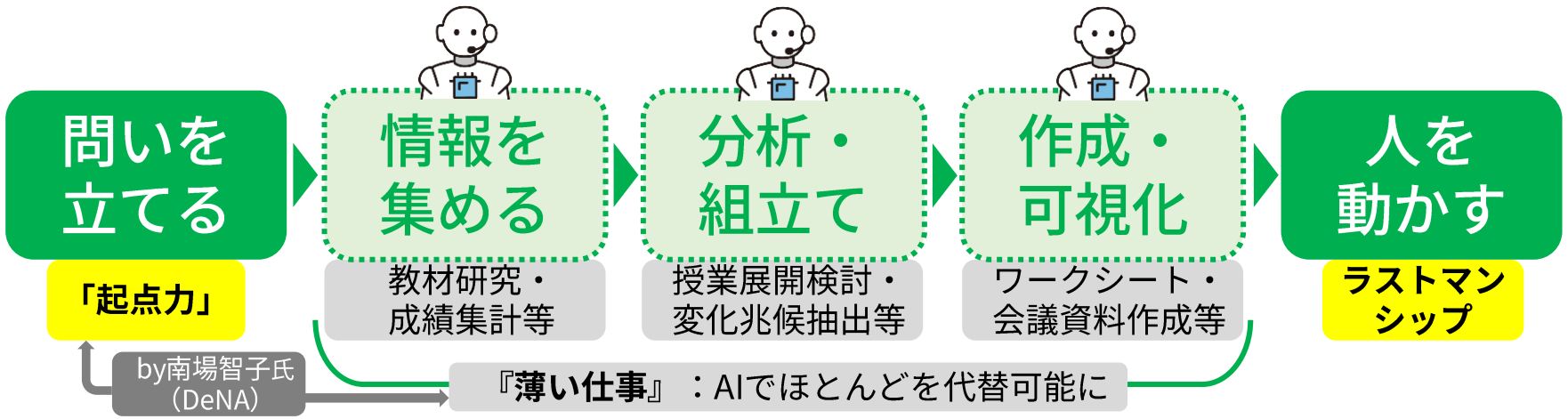
ツール
概ね整備済みだが…

現契約：R11年度末…前例踏襲×→ベストミックス追求
ネットワーク機器・電子黒板等の更新・整備も必要

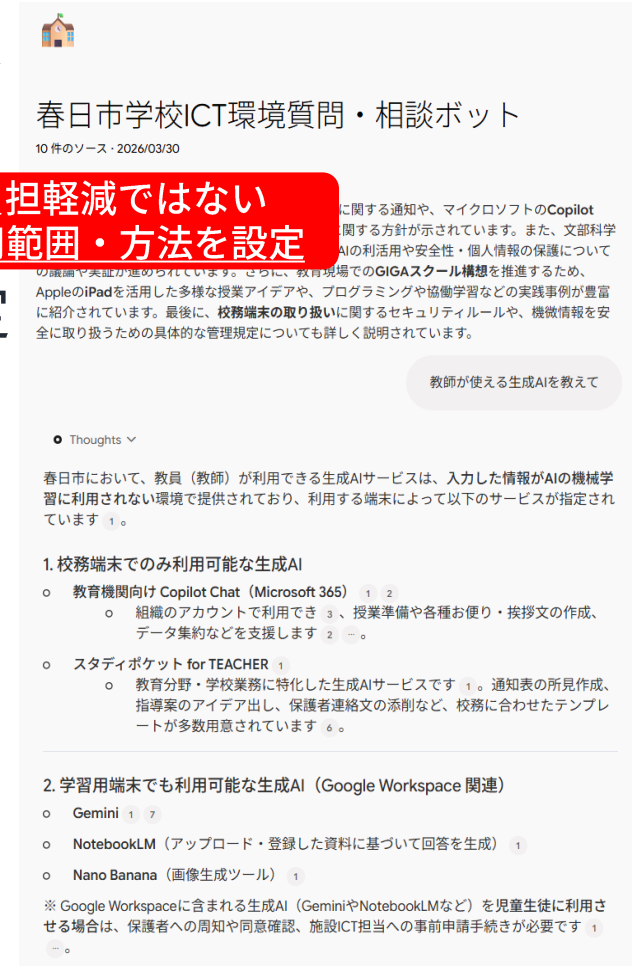
ルール
要見直し

文部科学省のガイドライン更新に合わせて、
セキュリティポリシーと**生成AIガイドライン**を改訂予定
→Gemini Notebook等を活用して周知・理解を促進

AI活用＝負担軽減ではない
→適切な活用範囲・方法を設定



生成AIの活用が進んでも、**理解・判断・責任は外注できない**



4 今後の検討課題

教育委員会の使命　ツール・ルール・ポータル の整備

ポータル　知見を集約・継承し、業務継続を担保するための「場・体制」づくり　整備が急務

①教育委員会内部：業務継続性を確保するための組織見直し　体制構築中

R7

【校務系担当】
教育総務課
施設計画担当



稲永（技師）が
建築部署へ異動
→**佐々木１人**で対応

【学習系担当】
学校教育課
学校教育担当



会計年度任用職員
１人でアカウント
管理等の実務担当

R8

【ICT関連担当】
教育総務課**施設ICT担当**



- 担当名を**「施設ICT担当」**に変更
- **業務集約**及び会計年度任用職員の異動
- 業務分担RAID化：建築技師は専門業務に集中

→**誰が休んでも異動しても問題ない体制を目指す**

令和８年度　教育総務課　施設ICT担当　業務分担表　※ICT分野のみ抽出

		業務内容		担当者 メイン	サブA	サブB
ICT環境の整備・活用	1	生成AIパイロット校事業	B区分（５校）	会任	新採	佐々木
	2	ICT環境対応等	iPad移行準備	佐々木	新採	会任
	3	インターネット使用料	モバイルルーター含	新採	会任	佐々木
	4	SARTRAS	著作権料支払い	新採	佐々木	
	5	学習用タブレット	修理部品発注	新採	佐々木	会任
	6		貸出事業実施要領改訂	新採	佐々木	会任
	7	校内ネットワーク管理・修繕	保守：R10まで	佐々木	新採	会任
	8	ICT支援員	R7～R9	会任	佐々木	新採
	9	学校現地視察	公開授業等対応	会任	新採	
	10	学校研修		会任	新採	佐々木
	11	校務端末調達	M365,SKY,i-Filter	新採	佐々木	
	12	ICT関連計画	学校教育情報化推進計画 セキポリ改訂・AIガイド策定	新採	佐々木	会任
	13	学校相談対応	学習系（GWS・ロイロ等）	会任	佐々木	新採
	14		校務系（M365・C4th等）	佐々木	新採	会任
	15	年度更新	児童生徒（Google）	会任	新採	佐々木
	16		教職員（Microsoft）	佐々木	新採	会任

4 今後の検討課題

教育委員会の使命　ツール・ルール・ポータルの整備

ポータル　知見を集約・継承し、業務継続を担保するための「場・体制」づくり　整備が急務

②教育委員会と学校現場：今後必要なICT環境整備・課題の共有や成果指標達成のための認識統一を図る協議体　検討段階

協議体（案）

学校現場	教育委員会
校長（小・中）、教頭（小・中）、主幹教諭（小・中）、事務（小・中）、その他（小・中）	指導主事・主幹、各所管、事務局（施設ICT担当）



【フルクラウド・ゼロトラスト移行時の反省】
- 校種や役職ごとに多種多様な意見や要望→誰と調整すればよいか不明のまま進行
- 特に**「一人職」**（「管理職」・養護・栄養・事務職等）の業務における課題把握は重要

→定期的に状況を把握できる協議体を設置することで、現環境でも実現できる業務改善の検討や次期更新での対応策の精査を可能とする⇒**校務の「標準化・省力化」を目指す**

教育委員会と学校現場における「情報の非対称性」克服を狙う

春日市 31
みんなで春をつくろう

4 今後の検討課題

教育委員会の使命　ツール・ルール・ポータル の整備

ポータル　知見を集約・継承し、業務継続を担保するための「場・体制」づくり　整備が急務

③学校現場：特に授業で使用する教材、ワークシートや自作アプリ等を共有するプラットフォームづくり　検討段階

教材の一括検索ができない

Microsoft Office で作成派 → SharePoint で共有

Google Workspace で作成派 → Google Drive で共有

類似のアプリを各自バイブコーディング

	アプリ名	種類	オーナー権限
	小学校振り返りアプリ	ウェブ	組織内
	国語振り返りアプリ③	ウェブ	組織内
	振り返りアプリ　11.1	ウェブ	組織内
	授業振り返りWebアプリ	ウェブ	組織内
	振り返りアプリ　11.1	ウェブ	組織内
	無題のプロジェクト	ウェブ	組織内
	社会1組　振り返り	ウェブ	組織内

	アプリ名	種類	オーナー権限
	席替えアプリ	ウェブ	組織内
	席替えアプリ	ウェブ	組織内
	座席モデル	ウェブ	組織内
	席替え	ウェブ	組織内
	席替えアプリ	ウェブ	組織内
	席替え	ウェブ	組織内

大量の振り返り・席替えアプリ

不要な「車輪の再発明」の温床



⇒教職員個人の工夫を「点」の取り組みで終わらせず、市全体の「教育資産」にできる仕組みづくりを教育委員会で担う

フルクラウド・ゼロトラスト移行はあくまでも手段であり、構築・移行して終わりではない
市民（児童生徒）が最大の利益を得ることができる学校のICT環境を、引き続き追求していく

春日市の取組みにいいね！と感じた方は…

春日市 32
みんなで春をつくろう

ふるさと納税額が西日本で唯一６年連続で減少していた本市に救いの手を…

おすすめ！春日の返礼品

春日市からお届けする選りすぐりの返礼品です！この他にも多くの返礼品をご用意しております。詳しくは、各ポータルサイトをご確認ください。



博多和牛100%ハンバーグ
寄付金額：**10,000**円～



国産牛もつ鍋セット（6～8人前）
寄付金額：**10,000**円～



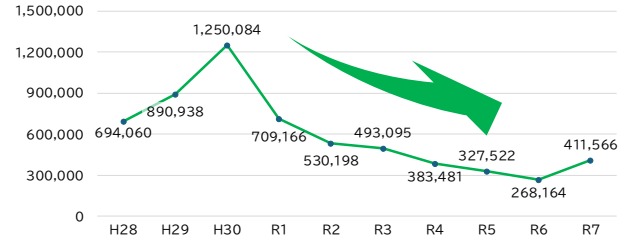
野良ねこ不妊去勢支援（返礼なし）
寄付金額：**1,000**円



福岡県産あまおう苺 １kg
寄付金額：**12,000**円～

ご清聴ありがとうございました

単位：千円



1　若い世代の結婚から子育てまでの希望がかなうまちづくり

子育て支援、学校教育支援などの事業に活用します。

2　九州で最も住みやすい魅力あるまちづくり

住環境の整備、商工業の振興、文化財の保存、文化振興などの事業に活用します。

3　超高齢・人口減少社会に対応した持続可能なまちづくり

高齢者福祉、自治会支援などの事業に活用します。

4　市長おまかせコース

企業版ふるさと納税
の制度もあります！

概要
（春日市HP）

寄付企業の紹介
（春日市HP）